

## 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月10日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8008 URL <https://yondoshi.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）増田 英紀  
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役常務執行役員財務担当 （氏名）西村 政彦 （TEL）03-5719-3295  
 半期報告書提出予定日 2025年10月10日 配当支払開始予定日 2025年11月7日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	32,474	66.9	1,124	34.6	1,310	24.9	781	16.3
2025年2月期中間期	19,460	1.8	835	△21.9	1,048	△18.4	671	△3.5

（注）包括利益 2026年2月期中間期 1,172百万円（54.4%） 2025年2月期中間期 758百万円（△40.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	36.41	—
2025年2月期中間期	31.32	—

（参考）のれん償却前営業利益 2026年2月期中間期 1,748百万円 2025年2月期中間期 1,083百万円  
当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	68,003	39,218	57.7	1,825.74
2025年2月期	66,494	38,935	58.5	1,812.89

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 39,207百万円 2025年2月期 38,915百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	41.50	—	41.50	83.00
2026年2月期	—	41.50	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	41.50	83.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	43.8	2,800	42.8	3,150	33.9	1,600	16.2	74.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期132円70銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	24,331,356株	2025年2月期	24,331,356株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	2,856,556株	2025年2月期	2,865,396株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	21,470,426株	2025年2月期中間期	21,457,046株

（注）自己株式数については、当中間連結会計期間末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式174,009株を含めて記載しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2025年10月10日（金）に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)におけるわが国経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調となりました。一方で、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れや、地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

流通業界におきましては、堅調な株価を背景に富裕層の高額品需要が拡大する一方、中間層では実質賃金の減少による節約・低価格志向が根強く、消費の二極化が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、第7次中期経営計画の2年目となる2026年2月期におきまして、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、顧客提供価値の向上と将来の飛躍に向けた成長基盤の構築を目指し、各種施策を推進しております。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向け、サステナブル経営の実践、内部統制機能の強化、株主への利益還元、中長期的な利益成長につながる投資の実行を通じて、企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高324億74百万円(前年同期比66.9%増)、営業利益11億24百万円(前年同期比34.6%増)、経常利益13億10百万円(前年同期比24.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益7億81百万円(前年同期比16.3%増)となりました。なお、特別損益として保有する賃貸不動産の固定資産売却益5億5百万円、投資有価証券売却益2億1百万円、ブランド整理損3億70百万円を計上いたしました。また、重要な経営指標として定めている、のれん償却前営業利益は17億48百万円(前年同期比61.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (ブランド事業)

ジュエリーSPA事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、将来を見据えた「4℃」のマーチャンダイジング(MD)改革の推進や価格政策の見直しに引き続き取り組んでおります。

また、高級ブランド時計のリユース販売を手がける(株)羅針では、盤石な財務基盤を活かした商品ラインアップの拡充や、新宿店の出店効果に加え、既存店の順調な伸長により、売上高が拡大いたしました。

その結果、売上高は198億48百万円(前年同期比176.9%増)、営業利益は8億93百万円(前年同期比133.5%増)と増収増益となりました。

#### (アパレル事業)

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、既存店の伸長や新店効果と増床により、売上高が堅調に推移いたしました。

また、アスティグループにおいては、海外生産基盤を強みに、主力取引先からの受注が拡大し、売上高・利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は126億25百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は7億91百万円(前年同期比12.3%増)と増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、商品及び製品が6億87百万円、受取手形及び売掛金が6億77百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して15億8百万円増加し、680億3百万円となりました。負債は主に、短期借入金6億円、未払法人税等2億円、電子記録債務が1億46百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して12億25百万円増加し、287億85百万円となりました。純資産は主に、その他有価証券評価差額金が3億49百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して2億82百万円増加し、392億18百万円となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して14百万円減少し、16億90百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果、資金の減少は4億64百万円(前年同期比24億22百万円減)となりました。これは主に、棚卸資産及び売上債権が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果、資金の増加は6億94百万円(前年同期比8億51百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果、資金の減少は2億44百万円(前年同期比6億45百万円増)となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,708	1,693
受取手形及び売掛金	2,926	3,603
商品及び製品	14,127	14,815
仕掛品	110	20
原材料及び貯蔵品	336	756
その他	736	1,293
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	19,939	22,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,045	3,734
土地	5,839	5,664
その他(純額)	383	376
有形固定資産合計	10,267	9,775
無形固定資産		
のれん	8,553	8,057
顧客関連資産	1,107	1,025
技術関連資産	439	393
その他	466	445
無形固定資産合計	10,567	9,922
投資その他の資産		
投資有価証券	21,475	21,885
退職給付に係る資産	449	466
その他	3,841	3,824
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	25,719	26,129
固定資産合計	46,555	45,827
資産合計	66,494	68,003

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,957	1,965
電子記録債務	340	486
短期借入金	4,900	5,500
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	748	949
賞与引当金	226	248
役員賞与引当金	11	30
ポイント引当金	50	47
資産除去債務	93	12
その他	1,975	2,183
流動負債合計	12,305	13,422
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
役員株式給付引当金	282	294
退職給付に係る負債	437	442
資産除去債務	913	919
その他	5,620	5,706
固定負債合計	15,253	15,362
負債合計	27,559	28,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	7,170	7,157
利益剰余金	30,153	30,038
自己株式	△6,104	△6,074
株主資本合計	33,706	33,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,601	5,950
繰延ヘッジ損益	△20	△4
土地再評価差額金	△233	△225
退職給付に係る調整累計額	△138	△121
その他の包括利益累計額合計	5,208	5,598
新株予約権	20	10
純資産合計	38,935	39,218
負債純資産合計	66,494	68,003

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
売上高	19,460	32,474
売上原価	10,203	21,696
売上総利益	9,256	10,777
販売費及び一般管理費	8,421	9,652
営業利益	835	1,124
営業外収益		
受取利息	71	74
受取配当金	126	172
為替差益	7	5
その他	16	20
営業外収益合計	222	272
営業外費用		
支払利息	0	76
支払手数料	7	—
その他	1	10
営業外費用合計	8	86
経常利益	1,048	1,310
特別利益		
固定資産売却益	—	505
投資有価証券売却益	340	201
特別利益合計	340	707
特別損失		
減損損失	93	73
投資有価証券評価損	—	55
店舗閉鎖損失	4	0
建物解体費用	177	—
ブランド整理損	—	370
特別損失合計	276	500
税金等調整前中間純利益	1,112	1,516
法人税等	440	734
中間純利益	671	781
親会社株主に帰属する中間純利益	671	781

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	671	781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	349
繰延ヘッジ損益	△72	15
土地再評価差額金	—	8
退職給付に係る調整額	10	16
その他の包括利益合計	86	390
中間包括利益	758	1,172
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	758	1,172

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,112	1,516
減価償却費	323	474
減損損失	93	73
のれん償却額	248	496
ブランド整理損	—	370
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90	21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24	11
その他の引当金の増減額(△は減少)	△7	27
受取利息及び受取配当金	△197	△247
支払利息	0	76
為替差損益(△は益)	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△340	△201
固定資産売却損益(△は益)	—	△505
投資有価証券評価損益(△は益)	—	55
売上債権の増減額(△は増加)	△102	△676
棚卸資産の増減額(△は増加)	421	△1,017
仕入債務の増減額(△は減少)	△71	152
未払金の増減額(△は減少)	△80	93
未払消費税等の増減額(△は減少)	112	△180
前受金の増減額(△は減少)	6	△22
その他の資産の増減額(△は増加)	219	△522
その他の負債の増減額(△は減少)	70	26
小計	1,693	24
利息及び配当金の受取額	200	249
利息の支払額	△0	△76
法人税等の支払額	△253	△702
法人税等の還付額	317	40
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,958	△464

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△324	△282
有形固定資産の売却による収入	—	879
無形固定資産の取得による支出	△17	△36
投資有価証券の取得による支出	△1,013	△3
投資有価証券の売却による収入	1,451	261
長期貸付金の回収による収入	0	0
長期貸付けによる支出	△0	—
長期前払費用の取得による支出	△50	△16
その他の支出	△238	△157
その他の収入	35	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156	694
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	600
自己株式の売却による収入	11	55
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△895	△897
その他の支出	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△890	△244
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	911	△14
現金及び現金同等物の期首残高	1,570	1,705
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,482	1,690

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド事業	アパレル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	7,132	11,880	19,012	—	19,012
その他の収益(注) 3	36	411	447	—	447
外部顧客への売上高	7,168	12,291	19,460	—	19,460
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	72	72	△72	—
計	7,168	12,364	19,533	△72	19,460
セグメント利益	382	705	1,087	△252	835

(注) 1 セグメント利益の調整額△252百万円には、のれん償却額△248百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△262百万円、セグメント間取引消去額258百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報  
 告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド事業	アパレル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	19,811	12,212	32,023	—	32,023
その他の収益(注) 3	37	413	450	—	450
外部顧客への売上高	19,848	12,625	32,474	—	32,474
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	70	70	△70	—
計	19,848	12,695	32,544	△70	32,474
セグメント利益	893	791	1,685	△561	1,124

(注) 1 セグメント利益の調整額△561百万円には、のれん償却額△496百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△244百万円、セグメント間取引消去額179百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報  
 告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブランド事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上  
 額は、118百万円であります。なお、そのうち87百万円はブランド整理損に含まれております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりでありま  
 す。